博士人材の
キャリア支援
2024

背景色
緑 1～ 8：大学院生に特化したメニューの概要
白 9～18：詳細説明・日程など
緑19～20：留学生へ
黄21～23：全学年対象のメニュー
青25～26：学部生・博士前期のメニュー
桃27～31：卒業間近の先輩のインタビュー

名古屋大学　https://dec.nagoya-u.ac.jp/career/
◆博士課程教育推進機構　キャリア支援・教育部門
◆学生支援本部　キャリアサポートセンター　博士人材キャリア育成部門

名古屋大学
NAGOYA UNIVERSITY

博士人材のキャリア支援

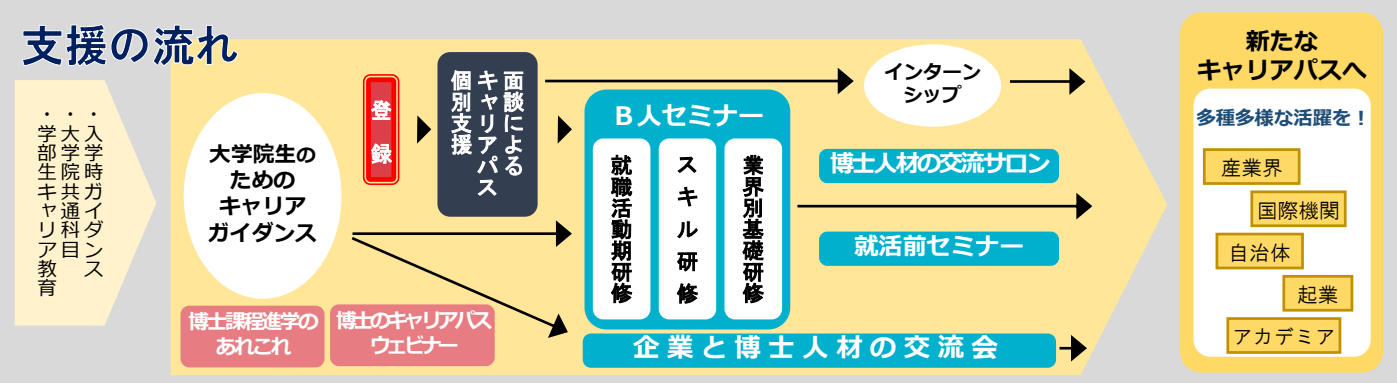
博士後期課程の学生や博士後期課程に進学希望の学生を中心に、若手研究者（博士人材）のキャリアパス支援（個人面談、B人セミナー、インターンシップ、企業情報の提供等）を実施しています。

専門性はもちろん、多様な能力を培ってきたのが博士人材です。アカデミックポディションはもちろんですが、多彩な業界や職で社会で活躍している博士人材が増えてきました。研究者として新しい知の創出をしたり、教育者として次世代研究者の育成をする以外にも、産業界で事業のグローバル展開、新規事業開拓、社内の活性化、イノベーション創出、国際協力や自治体の施策立案など、活躍の場は多様です。

大学院で多くの経験をして、これからの自分のキャリアを見つけましょう。

進路、就職などに迷ったら、気楽に一報ください!

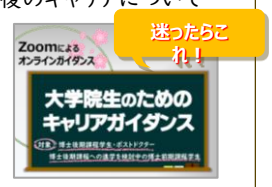
支援の流れ



大学院生のためのキャリアガイダンス及び個人面談

毎月実施しているキャリアガイダンスの受講をお勧めしています。博士で培う力、大学院の使い方、博士取得後のキャリアについて話します。

個人個人に応じた支援ができるよう、個人面談を重要視しています。面談やメール相談で、キャリアプランを明確にしていきます。面談希望者はこちらからユーザー登録をお願いします。



https://dec.nagoya-u.ac.jp/career/events/events_cat/guidance/

B人セミナー（大学院生に必要な情報やスキルを得るセミナー）

ポストドクター・大学院生であれば、どなたでも参加可能です。博士の持っている力を自覚し、新たに習得し、その力を活用できる業界や分野についての情報を得ることが目的です。

以下のカテゴリーを表示して開催しますので、自らの興味や必要性に応じて受講してください。

Ⅰ. 就職活動期研修　Ⅱ. スキル研修　Ⅲ. 業界別基礎研修

※セミナー受講には、セミナーの事前参加登録と併せて当部門への登録が必要です

https://dec.nagoya-u.ac.jp/career/information/

博士のキャリパスウェビナー（先輩の体験談を聞く）

学部生から博士後期課程学生まで参加可能です。先輩博士たちはどのようにキャリアを選択してきたのか。そして、今どこで、どんなふうに活躍しているのか。各所で活躍している博士取得したOBたちのリアルな話です。1年前に実施した内容はアーカイブス（https://dec.nagoya-u.ac.jp/career/sympo/）で視聴できます。

博士人材のインターンシップ（実地で企業の仕事ややりがいを知る場）

インターンシップは、博士人材が企業などで一定期間働くことで、企業の研究内容や進め方を知ったり、自分の伸ばしたいスキルを再確認する機会 として活用しています。

企業が提示する研究テーマや研修内容に学生が応募するインターンシップと、研修内容を個別に企業と相談して、実務的な知識や技術を学ぶ機会を新たに創出するインターンシップがあります。期間や業界、研修内容について、個人の要望に近づけたインターンシップ実施ができるよう支援していきます。

文部科学省ジョブ型研究インターンシップ（博士後期）にご興味のある方の相談も承ります。

企業と博士人材の交流会（企業と博士人材の直接交流）

本交流会は、企業への就職やインターンシップのきっかけ以外にも、研究アピール、アイデア創出、人脈形成等の様々な機会になります。アカデミアへのキャリアプランの博士にもお勧めです。前期学生も見学可。

- **PRセッション**　博士たちが、多様な分野の企業の方に、研究内容を通じて自分自身を動画でアピールします。自身の研究の価値を見直し、キャリアプランを考えるきっ かけにもなります。 また、参加企業各社によるのPRスピーチで、博士に求められる人材像 や新たな業界を発見していきます。
- **交流セッション**　博士の研究発表に各企業から質問やアドバイスをもらいます。常日頃交流の少ない企業ー博士間における“異業種交流”の場です。さらに各企業から詳細な企業説明を聞き、質疑応答を行います。 これらをきっかけに、多様なキャ リアを検討し、only oneのキャリア 形成につなげていきます。

お問い合わせ先

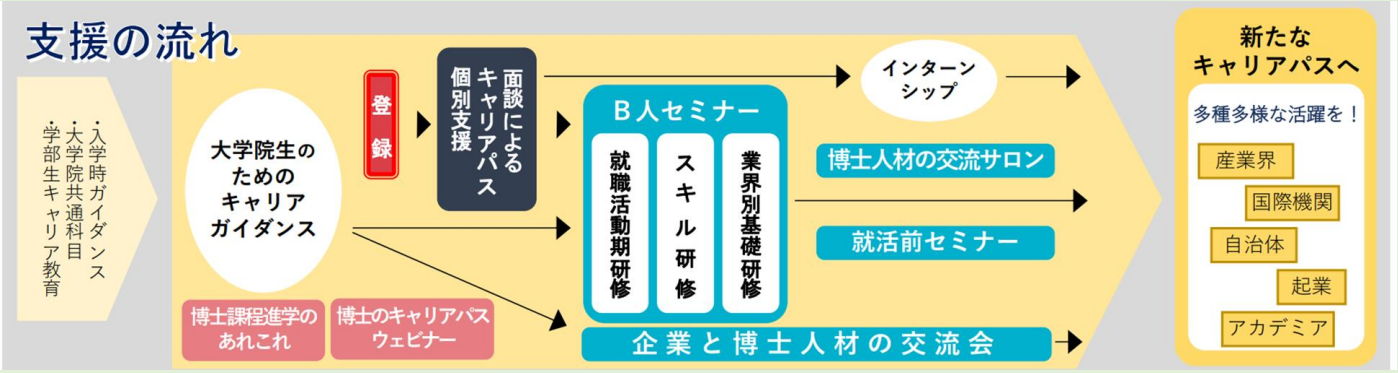
博士課程教育推進機構
キャリア支援・教育部門
（キャリアサポートセンター博士人材キャリア育成部門）

〒464-8601 名古屋市千種区不老町　名古屋大学 東山キャンパス
E-mail：hakase-career@t.mail.nagoya-u.ac.jp
https://dec.nagoya-u.ac.jp/career/
＊ユーザー登録はこちらから>>> https://dec.nagoya-u.ac.jp/career/entry/

博士人材の主な支援の流れ

　キャリアとは、就職だけを意味するのではなく、一生続いていくものです。また、正解というものがなく、自らが考え、答えを出していかなければなりません。
　博士後期課程の学生、ポストドクターの方々は、ぜひ、以下の各種メニューを各自で取捨選択して活用し、Only Oneのキャリア形成をしていただきたいと思います。
　現在では、博士後期進学後のキャリアは多様です。想像以上に皆さんの力が生かせる場はたくさんありますよ・・・。

博士課程教育推進機構キャリア支援・教育部門の支援メニュー



※名古屋大学には、全学部・全学年対象に就職支援をする「**キャリアサポートセンター**」があります。
博士後期の皆さんは、「**キャリアサポートセンター**（21ページ参照）」と博士後期の支援に特化した「**博士課程教育推進機構キャリア支援・教育部門**」と両方を活用してキャリア形成をしてください。

ステップ１，ユーザー登録をする

キャリア支援・教育部門のHPからユーザー登録をしてください。
登録者には、ガイダンスやセミナーのお知らせ、企業から採用やインターンの情報が入った場合にも不定期に連絡を入れます。

日本での就職を中心に支援しているため、日本語での対応をしています。
https://dec.nagoya-u.ac.jp/career/

個別相談予約は、ユーザー登録後に連絡をしたメールアドレスで日程調整をしています。対面あるいはオンラインで実施しています。

※**キャリアサポートセンター**は、NU-NAVIから登録をしてください。
キャリアサポートセンター主催のイベント申込みなどはNU-NAVIから行います（21ページ参照）。

ステップ２、ガイダンスに出る

キャリアガイダンス

博士取得後のキャリア形成のための博士で培う力、大学院の使い方など網羅的にお話しします。**個別相談前には受講しておくことをおすすめしています**。毎月1回開催予定。
対象：大学院生、ポスドク、

博士後期の就活前セミナー

博士後期課程学生の日本の産業界への就職活動に特化した話を中心に解説。場合により、就職内定D3を招き、経験談も話していただきます。
急激に就活状況が変わるので、就活年次にあたるD2やD3が対象ですが、早めに聞かれたい人も参加可能です。
不定期開催。
博士後期の就活時期は？　学振PDと企業就活は？
何から情報を得ればいい？　など、よくある質問などに対応しています。

大学院生のキャリアガイダンス	4/16 5/8(TBD) 6/13(TBD) 以降、月1回開催 12月は12/12	12－13時	オンライン
博士後期の就活前セミナー　& D3生の体験談	5/9、10/8	12－13時 13－14時	ハイブリッド 対面
	1月頃		

ステップ３、それぞれのニーズに合わせて取捨選択

先輩たちの活躍を知りたい

➡ ①博士のキャリアパスウェビナーに出る、
　　または過去のアーカイブスを見る
➡ ②メンター交流会

何から始めてよいかぼんやりしている

➡ ③博士の交流サロンで相談する

キャリア形成のための情報やスキルについて知りたい

➡ ④B人セミナー

インターンシップに行ってみたい

➡ ⑤博士後期のためのインターンシップ説明会
➡ ⑥体験型ワークショップ
➡ ⑦大学院共通科目「エンプロイアビリティ」

忙しいので企業の情報を凝縮して知りたい

➡ ⑧企業と博士人材の交流会
➡ ⑨企業とInternational Studentsの交流会
➡ ⑩企業研究セミナー

キャリア形成や進路に不安があり心身の状態がよくない・学校生活や指導教員・研究室でのことを相談したい

➡ 学生支援本部へ相談予約

https://www.gakuso.provost.nagoya-u.ac.jp/application_to_counseling/#students

年間スケジュール

ガ イ ダ ン ス

大学院生のための キャリアガイダンス	博士後期課程進学の魅力は？ 学部や修士とはどう違う？ 就職はどうなるの？・・・ 進路に悩める大学院生を対象としたキャリアガイダンスです。 ＼迷ったらこれ／	毎月１回 4/16・5/8・6/13・・・	
博士後期のための 就活前セミナー	博士後期課程学生就活について、日本の産業界への就職活動に特化した話をします。基本的には今年度就職活動をする人を対象にアドバイスをします。	5/9・10月・12月頃	

博士のロールモデルとの交流

①博士のキャリアパス ウェビナー	博士後期課程を修了したOB・OGの、リアルな体験談を聞くオンライン講演会です。講演会の後には、個別にお話しをする時間も設けます。	不定期、年2～3回 ※アーカイブスから過去の講演録画を視聴可	
②メンター交流会	博士後期課程を修了し社会の様々な分野で活躍されているOB・OGメンターとの交流会です。ロールモデルとなるメンターや、他の参加者との交流を通じて、自身のキャリアを考える機会としてください。	1/17	

集 団 相 談 会

③博士人材の交流サロン	各回のテーマに関心のある学生と、アドバイザー的な立場の教員で、ざっくばらんに話をしませんか。皆さんが関心のあるテーマも随時募集しています。	不定期、年5～6回 4/23 博士後期就活相談 5/23キーワードは“海外”	

④B 人 セ ミ ナ ー

博士の持っている力を自覚し、新たに習得し、その力を活用できる業界や分野についての情報を得ることが目的です。
以下のカテゴリーを表示し開催します。自らの興味や必要性に応じて受講してください。
Ⅰ就職活動期研修　Ⅱスキル研修　Ⅲ業界研究研修

4月	公的資金の申請・獲得のためのガイダンス	Ⅱ
5月	企業をいつもと違う観点で理解しよう！	Ⅲ
6/10	新事業創出（製薬企業の事例）	Ⅲ
7/8・18	魅力的な研究PRをしよう：基礎編・応用編	Ⅱ
8/27	Introduction to Journal Publishing	Ⅱ
10/24	外資系企業を知ろう	Ⅱ
1/23	数学や物理学の基礎研究者の能力が企業でどのように生かされるのだろう	Ⅲ
11/19	企業におけるリーダーシップ	Ⅱ
12/9	レジリエンス・トレーニングセミナー	Ⅱ
2月	人生とお金の知恵	Ⅱ
春学期 秋学期	金曜2限、現代教養科目「キャリア形成論」	Ⅰ

インターンシップ等 企業での体験

⑤博士後期のための インターンシップ説明会	博士後期のインターンシップについて概要を説明した後、皆さんからの質問にお答えします。 経験者の体験談を聞ける回もあります。	4/30 企業でのインターンシップ（体験談あり） 6/21シンガポールでのインターンシップ	
⑥体験型ワークショップ	参加者が共同で作業をしながら課題を解決し、プレゼンをするイベントです。時間が確保できず長期のインターンシップに行くことができない人にお勧めです。 企業で開催する場合は、企業の社員と交流ができます。	5/15 パナソニック、11/5 コニカミノルタ 11/25-26 他大学の学生とのワークショップ@野依 12/19　JICA	
⑦大学院共通科目 「エンプロイアビリティ」	社会の現場を見学して課題を見つけ、自分たちの能力や専門性を生かして解決案を提案します。グループワークを通じて問題解決能力や協働性・コミュニケーション能力を鍛える機会にもなります。	春学期 火曜日 2限 単位：2単位 初回授業：5/7	

産業界との交流

⑧企業と博士人材の 交流会	博士人材の採用を考えている企業と博士人材の交流会です。博士人材のポスター発表、企業のプレゼン、企業ブース訪問を行います。	8/23	
⑨企業と International Studentsの 交流会 in English	博士学位を持つ留学生の採用を考えている企業と、博士後期課程の留学生の交流会です。英語でのポスター発表、企業のプレゼン、企業との担当者との交流を行います。日本企業の特徴や、日本企業の求める人材を知る機会になります。	9/18	

HP活用方法

学内外の情報へのリンク集

留学生情報（日・英）
For International Students

新たなイベント情報

学内のキャリアに関係する講義やセミナー情報

大学に寄せられた博士後期課程の企業情報

①博士のキャリアパスウェビナー　and アーカイブス

博士のキャリアパスウェビナー

博士取得したOBたちのリアルな体験談を聞く機会です。参加対象は学部生～ポスドクです。
博士後期修了後に各所で活躍している先輩の経験談を聞きます。その後、先輩に質問や相談をして、自身のキャリア形成のヒントを得てください。
開催が決まったら、ユーザー登録者にはメーリングリストでお知らせしています。
また、HPのWhat’s new の情報からも情報を得ることができます。

https://dec.nagoya-u.ac.jp/career/
各回、事前予約制です。

博士のキャリアパス講演会アーカイブス

過去の講演の録画です。出身学部や会社名など気にせずに、全員の動画を見てみると、様々なヒントが得られます！
ユーザー登録者にはPWを付与しています。ユーザー登録していない人もHPからPW申請ができます。

②メンター交流会　②

OB/OGに、キャリア形成や各種活動と研究との両立、就活や博士修了後の活躍など、メンター等に相談できる機会です。複数名のメンターと相談する機会です。
メンターは、アカデミア、産業界、公務員など多様な活躍をしています。開催日に都合できるメンターがおいでいただけます。

対象：博士後期、20～30名（最少結構人数10人）
開催時期：2025年1月17日㈮（TBD）
プログラム：
①全体会　・メンター自己紹介　・学生自己紹介
②グループ単位でのメンターとの交流
　1回目・2回目…指定のグループでの交流
　3回目…希望するメンターとの交流
　自由交流 メンター×学生、学生×学生

開催が決まったら、ユーザー登録者にはメーリングリストやフェロー・リサーチャー・RESEADENTのTACTでお知らせします。
また、HPのWhat’s new の情報からも情報を得ることができます。
https://dec.nagoya-u.ac.jp/career/
完全事前予約制です。

③博士の交流サロン

各種テーマを持った集団相談会です。
個人面談の予約を取るほどではないけれど、ちょっと相談をしたいという人におすすめです。キャリア支援教員、海外拠点在住教員、精神科医、先輩など、テーマに合わせた講師が相談にのります。また、他の参加者の質問の観点を聞くことで、新たな情報を得ることもできます。
内容により、対面あるいはオンラインで実施。

これまでのテーマは以下の通りです。
・博士後期の就活相談
・キーワードは「海外」
・心の健康
・化学・生物系のインターンシップ
・外国籍留学生の就活

博士後期の就活（対象：博士後期）	4/18 以降、不定期開催	12時ー13時	オンライン
キーワードは「海外」（対象：大学院生、留学や海外での就職に興味のある人）講師：シンガポール拠点特任教授　今泉先生	5/23	13時30分ー14時30分	対面

開催が決まったら、ユーザー登録者にはメーリングリストでお知らせします。
また、HPのWhat’s newの情報からも情報を得ることができます。
https://dec.nagoya-u.ac.jp/career/

④B人セミナー

博士の持っている力を自覚し、新たに習得し、その力を活用できる業界や分野についての情報を得ることが目的です。以下のカテゴリーを表示し開催されるので、自らの興味や必要性に応じて受講してください。

Ⅰ．就職活動期研修
Ⅱ．スキル研修
Ⅲ．業界別研修

2024年度
B-jinセミナー
就職活動期セミナー
2024年度春学期
現代教養学科「キャリア形成論」

学部生を対象に開講している「キャリア形成論」（現代教養科目）を、名古屋大学所属の大学院生（博士前期課程・後期課程）に開放します。
この講義は、社会の様々な分野で活躍されている本学卒業を中心に講師をお招きし、オムニバス形式で行います。各講師の所属先の話にとどまらず、講師ご自身の生き方や考え方に触れ、それらを糸口として自らのキャリアを考えることを目的としています。博士学位取得者からはもちろんですが、学位にかかわらず、現在社会で活躍しておられる方の経験は奥深く、多くのことが学べます。また、職業環境・業界情報・今後の動向等も含めて種々の立場や視点からのお話も聞けます。全ての回に参加しても、興味のある講師の回のみ参加しても、どちらでも結構です。
希望する大学院生は、下にある申し込みフォームから登録をしてください。
（聴講希望の学部生は、下記［■問い合わせ先］の講義担当教員までメールでご連絡ください。）

▶開講時間：金曜2限（10:30～12:00）　▶言語：日本語
▶講義室：全学教育棟本館4階 C43講義室
▶講義責任者：森 典華（博士課程教育推進機構キャリア支援・教育部門 特任准教授）

4月19日（金）D
海外留学（海外体験）のススメ
名古屋大学 グローバル・エンゲージメントセンター 准教授 星野 晶俊
博士の新たな可能性–分野、職種を超えた仕事への挑戦
名古屋大学 トランスフォーマティブ生命分子研究所 特任准教授／研究推進主事 佐藤 綾人

4月26日（金）
名大からシアトルへ～元GAFAM社員が語る次世代のグローバル人財の姿～
AKKODiS コンサルティング株式会社 Chief of Staff 吉田 まみな

5月10日（金）
偉大な会社に入るのではなく、偉大な会社を作るというキャリア
株式会社 Acompany 代表取締役CEO 篠塚 亮宿

5月17日（金）M
皆様と共に私の会社人生を振り返る
太陽化学株式会社 執行役員 品質保証部 部長 宮本 圭一

5月24日（金）D
シンガポールでのキャリア形成
名古屋大学 グローバルマルチキャンパス推進機構 特任教授（兼務：Director, Nagoya University Global Campus Ltd /名古屋大学バンコク事務所所長）
岑泉 寛

5月31日（金）D
大学で身につけた技術をスタートアップで活かす
株式会社 Preferred Networks エンジニア 梁田 拓也

6月14日（金）
私の就職活動&キャリアの軸の探し方～新卒で地方就職を決めた理由～
大手人材会社 濱本 千都

6月21日（金）D
将来のキャリアは未知数かつ無限の可能性
コニカミノルタ株式会社 イノベーション推進室 エグゼンプト(技術エキスパート) 小田 一爵

6月28日（金）
個人としての「働く意味」と、企業の中で「働く」とは？
アサヒグループジャパン株式会社 P&C本部 HR・CoE TAチームリーダー 森 裕佳子

7月5日（金）
100年時代を生き抜くキャリア形成
株式会社 DOKAVEN 代表取締役 酒匂 紀史

7月19日（金）
名大生の就活リアル～名大就サポOB・OGによる就活体験座談会～
就活サポーターOBOGの皆さま 3名

※日付横の記号は、経歴が博士前期M 博士後期D

▶問い合わせ先
講義担当教員 森 典華
（博士課程教育推進機構キャリア支援・教育部門 特任准教授）
E-mail mori.norika.b2[at]f.mail.nagoya-u.ac.jp ※[at]→@

▶大学院生の参加方法
下記URLのフォームから申し込みをしてください。
https://dec.nagoya-u.ac.jp/career/keiseiron/

Ⅰ．就職活動期研修

春学期・秋学期とも**金曜2限**、対面で実施。
全学教育棟　C43講義室
春学期日程以下のURLに掲示しています。
https://dec.nagoya-u.ac.jp/career/wp-content/uploads/2024_bjin_keiseiron_spring.pdf

学部生対象の講義ではありますが、人生を考えるうえで、様々なメッセージが込められています。博士取得の講師も何名かおられます。単発での参加も可能です。
今、各種業界で活躍しているOB/OGですが、それまでの経歴や講師の価値観などに触れて、キャリア形成に役立ててください。講師の所属や学位にかかわらず、キャリア形成において深い考え方を聞くことができます。また、講師と知り合いになるチャンスです。

Ⅱスキル研修、Ⅲ業界別研修

開催日(予定)	時間	テーマ		
4月	調整中	公的資金の申請・獲得のためのガイダンス	オンライン	Ⅱスキル
5月～8月末	―	企業をいつもと違う観点で理解しよう！	オンデマンド	Ⅲ業界
6/10	14:00-15:30	製薬業界の新事業創出	ハイブリッド	Ⅲ業界
7/8	14:30-16:30	魅力的な研究PRをしよう：基礎編	対面	Ⅱスキル
7/18	15:00-17:00	魅力的な研究PRをしよう：応用編	対面	Ⅱスキル
8/27	14:00-15:30	Introduction to Journal Publishing	オンライン	Ⅱスキル
10/24	15:00-16:30	外資系企業を知ろう	オンライン	Ⅲ業界
10月	調整中	数学や物理学の基礎研究者の能力が企業でどのように生かされるのだろう	対面	Ⅲ業界
11/19	14:00-16:00	企業におけるリーダーシップ	ハイブリッド	Ⅲ業界
12/9	14:00-16:00	折れない心の育て方	オンライン	Ⅱスキル
1月	調整中	人生とお金の知恵	オンライン	Ⅱスキル

https://dec.nagoya-u.ac.jp/career/
各回、事前予約制です。HPのWhat’s new の情報から、参加対象などを確認の上、申込ください。

開催が決まり、参加申込開始をしたら、ユーザー登録者にはメーリングリストで、フェロー・リサーチャー・RESEADENTにはTACTでお知らせします。
また、HPのWhat’s new の情報からも情報を得ることができます。
https://dec.nagoya-u.ac.jp/career/
事前予約をしてください。

⑤博士後期のためのインターンシップ説明会

博士後期のインターンシップについて、概要を説明したのち、皆さんの質問にお答えします。

第1回　企業へのインターンシップ

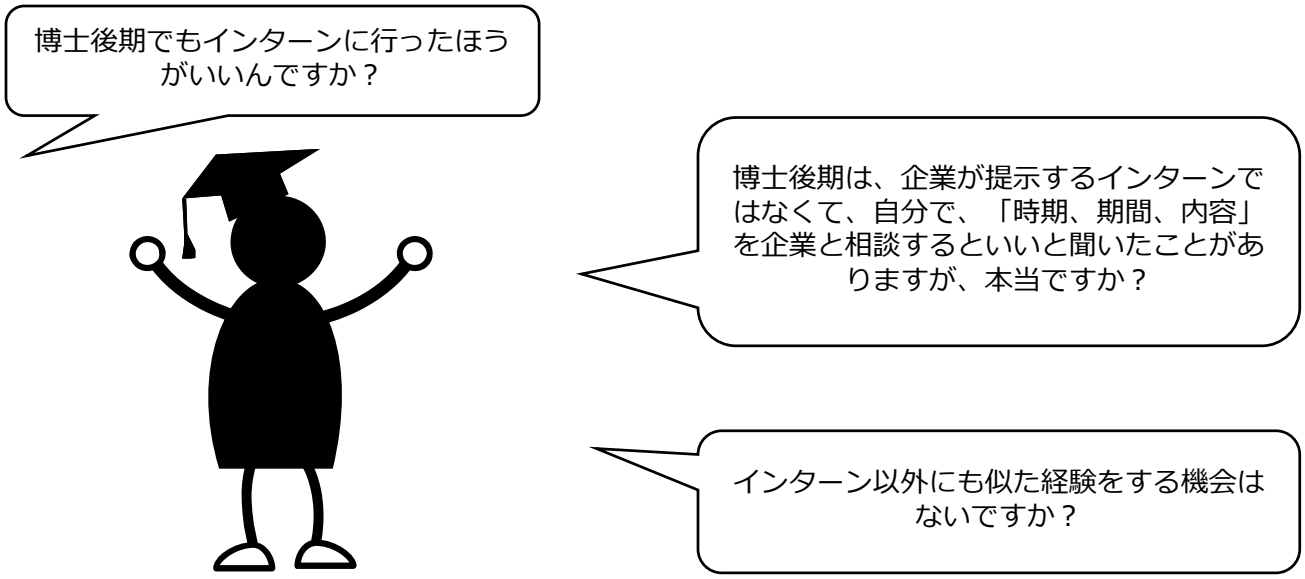
インターンシップ経験者の経験談もお話しいただきます。企業が提示するインターンの募集は5月くらいから始まります。一方で、博士後期の場合には自分で時期を交渉するインターンも実施可能な場合もあります。

日時：4月30日㈫　12～14時
　12～13時：概要説明（ハイブリッド）
　13～14時：先輩の体験談（対面@東山キャンパス）

第2回　国際的なインターンシップ～シンガポール編～

シンガポール在住の名古屋大学教員よりシンガポールでのインターンの説明をしていただいたのち、質問を受け付けます。

日時：6月21日㈮　16時～17時　（オンライン）
　シンガポールでのインターンシップ説明



⑥体験型ワークショップ

研究プレゼンをしたり、ワークショップを多様な人材とともに経験する機会です。インターンシップに行く時間がない人にもおすすめです。また、企業で開催する場合には、企業見学や社員との交流ができます。どの回も研究分野は問いません。

2024年度、現在決まっているものです。追加開催があるかもしれません。
1回目：5月15日　10:30～17:00　パナソニック@大阪
2回目：11月25～26日　日本の他大学大学院生とのワークショップ@野依学術交流館
3回目：12月－1月　JICA　（調整中）
詳細が決まり次第、ユーザー登録者にはメーリングリストで、フェロー・リサーチャー・RESEADENTのTACTでお知らせします。
また、HPのWhat’s new の情報からも情報を得ることができます。
https://dec.nagoya-u.ac.jp/career/
完全事前予約制です。

以前開催時の様子

⑦エンプロイアビリティ

「エンプロイアビリティ」では，体験型講義のアドバンスコースとして，自らのキャリア・ライフを考え，多彩なキャリア・パスの中から自分に適した資質・能力を形成する糸口を掴むため，『座学』と『グループワー（PBL）』という形で進めて行きます。『座学』では，自己理解，基礎的スキル等を知り，その理解とスキルを「グループワーク」で，体感します。

単位：2単位（大学院共通科目）
初回：5月7日㈫2限
この日に是非参加して、本年度の予定や講義の進め方を聞いてください。
受講申請：4月30日までに以下のメールアドレスに連絡。
初回の講義の場所などを連絡します。
mori.norika.b2@f.mail.nagoya-u.ac.jp
【件名】体験型講義受講希望、【内容】氏名、学部名、学年、学籍番号　を書いてお申し込みください。

特徴

①多様な属性の学生とディスカッション
国籍、学年（M1～D3)、分野（文理問わず）、キャリアプラン（アカデミア・企業研究職等）

②毎年、学外でフィールドワークする
（例）在宅医療のお宅、大学発ベンチャー、介護施設、医療クリニック等

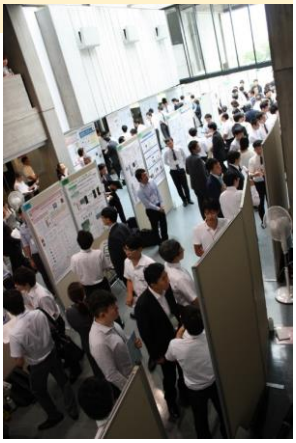
③社会を見て五感で感じる
現場を見学し、自分たちの能力や専門を発展させて解決したいと思う、心が動かされる社会課題を見つける

④自己理解・他者評価をしながら進めていく
ワークをする前後で自己理解と、他者からの評価をフィードバックし、次のアクションへつなげる

過去には、学内外のアイディアコンテストやビジネスコンテストへ応募し、各種の賞を受賞したチームも数件あります！

⑧企業と博士人材の交流会

- 社会を知る、企業を知る、異分野に研究や自分の強みをプレゼンする場です
  ➡自分の研究の意義を見直す、博士が必要とされる能力を知る機会
- 就職希望の人は、インターンシップや就職先を見つけてください
  ➡企業は、参加した学生からできれば採用したいという思いがあります
- 留学生、文系の方も毎年参加。留学生の場合は、日本語での発表をおすすめします
  ➡ 日本企業は、日本語ができる留学生を欲しています



事前説明会＋質問相談日

6月7日12時 or 6月19日12時 or 録画

エントリー

6月30日まで

PRセッション：PRサイト

7月末までに作成
参加企業の研究者などが見てくれます。PR動画1～3分や自己紹介を掲載します。

交流セッション：企業（50社程度）と会う日

8月23日㈮　9時30分～18時頃（企業数により変更有）
前期課程学生はオブザーバー参加可。7月に参加募集します。

その他活用できる事前セミナー

「企業といつもと違う観点で理解しよう！」6月頃オンデマンド
「魅力的な研究PRをするには・基礎編」7月8日対面実施
「魅力的な研究PRをするには・応用編」7月18日対面実施

実績

1. 毎年、学振特別研究員、フェロー、リサーチャー等**120名程度が参加。企業は50社、150名程度が参加。**必須活動だからと言わず、機会を有効活用を！**D1での参加をおすすめしています。**
2. 交流会以降に**早々に内定を得る**学生がいる
3. 参加後に、アカデミア志望を強める学生もいる
4. 製薬業界の就活時期が早い（製薬業界希望の学生は、PR動画などを早めに作成してアップしPR。**D1の人は次年度に向けて情報収集をするとよい。**）
4. メーカーなど就活時期が遅めの企業志望者は、業種問わずに、博士人材への求めることを多く入手したり、自分のプレゼンにアドバイスを求めたり、質疑応答で社会を知る機会になる
5. PR動画と、ポスターで、印象的だった人を企業の人たちに選んで表彰します。企業も注目しています！

⑨企業とInternational Studentsの交流会 in English

目的

1. 日本企業の求める人材について知る
2. 日本企業を知る
3. 異分野の人へのプレゼンをする機会を経験する

エントリー(必須)

8月28日締切り

事前説明会＋質問相談日(必須)

8月30日（予定）

事前課題提出(必須)

9月13日までに提出

交流セッション：企業(5社程度)と会う日(必須)
9月18日㈬　13時30分～17時頃（企業数により変更有）

活用できる事前セミナー

「企業といつもと違う観点で理解しよう！」オンデマンド
「キャリアランチ」水曜日
「魅力的な研究PRをするには・基礎編」7月8日対面実施
「魅力的な研究PRをするには・応用編」7月18日対面実施

留学生の支援

ー博士人材の就職支援について

- **日本企業へのキャリア支援（HPやセミナー、個人面談など）は基本的には日本語を使用しています。**
- 理系の外国人留学生で、専門性を生かしたい場合には、研究室や研究科において情報収集をする場合が多いです。
- 日本のアカデミックポジションの公募情報は、JREC-INを利用しましょう。
- 文系の博士の企業就職は、日本人も外国人留学生も事例が少ないのが日本の社会の現状です。
- 専門分野と共に、博士の研究過程で培った力を評価されて、博士人材は多種多様な分野や職で日本企業で活躍していますが、その場合には日本語能力が必要になります。よって、キャリア支援も日本語で行っています。

ー英語で、日本企業への就職支援を希望する場合

英語での個別相談・カウンセリングを希望する場合には、キャリアサポートセンターで行っています。NU-NAVIより予約をしてください。学部～博士前後期を網羅的に留学生の支援メニューをもって対応しています。

https://syusyoku.jimu.Nagoya-u.ac.jp/international/

For International Students

Employment support for international students

- If you are an international student in STEM major and want to leverage your specialty, it is common to gather information in your laboratory or grad school. Please use JREC-IN for open recruitment information for academic positions in Japan.
- Unfortunately, as for the current state of Japanese society, there are few cases of employment in companies for doctors in liberal arts/humanities, whether they are Japanese or international students.
- Not only in specialized fields knowledge, but also in recognition of the abilities cultivated in the doctoral research process and experiences, doctoral students are active in Japanese companies in wide variety of fields and jobs. However, to thrive in Japanese companies. Japanese language ability is essential. Therefore, Japanese is mainly used for websites, seminars, and personal consultation, in Career Education Office.

Individual consultations and counseling:

If you would like to have a personal consultation and consulting in English, please make an appointment from NU-NAVI.

https://syusyoku.jimu.Nagoya-u.ac.jp/international/

キャリアサポートセンター

学部、博士前期課程、博士後期課程すべてを対象して各種の支援環境を整えています。

●学生支援棟1階のキャリアサポートセンター窓口
●NU-NAVIのサイト

学生支援棟１階窓口

１，短時間であれば就職相談も可能です
２，ＯＢ／ＯＧ名簿閲覧
３，ビジネス雑誌・新聞・就職活動関係書籍、筆記試験対策の本の閲覧や無料貸し出しがあります

NU-NAVI に登録する

求人情報やキャリサポ主催のイベント・ガイダンス等についてなど、就職活動に役立つ様々な情報を簡単にチェックできるほか、個別相談の予約やイベントへの参加申込をすることができます。

１，大学に来る求人情報・インターンシップ検索
２，キャリアサポートセンター主催イベントの予約
３，進路報告
４，就活活動体験記閲覧、登録
５，個別相談予約

⑩企業研究セミナー

学部、博士前期課程、博士後期課程すべてを対象にした名大生限定【合同企業説明会】です。
数百社が参加します。
近年では、博士後期課程学生も多数参加しています。

・就職したい企業を見つける
・具体的な就活スケジュールを入手する
・業界を知り、気になる仕事を考える情報を得る
・インターン情報を得る

など、活用の仕方はいろいろです。

開催時期：2025年2月７～9日
場所：名古屋大学東山キャンパス内

開催日1～2か月前くらいより情報が公開されます。
NU-NAVI、教務課からの情報や、キャリアサポートセンターHPなどから情報を得てご参加ください。

公務員・小中高教員希望者への支援

１，学部、博士前期課程、博士後期課程すべてを対象として開催されるセミナー類

これまで実施したものは以下のものがあります。
・**官公庁研究セミナー**
・**OB/OG交流会**
・**教員志望者向け採用試験対策講座**
2024年度については、現在検討中です。

２，過去の公務員試験の情報などは、キャリアサポートセンター（学生支援棟1階）で閲覧できます

留学生のキャリア支援

英語での個別相談・カウンセリングのほか、留学生のための各種イベントを開催しています。

ー愛岐留学生就職支援コンソーシアムのご案内
さらに、愛岐留学生就職支援コンソーシアム https://ag-int.org/ で開催しているキャリア教育（キャリアカウンセリングを含む）、インターンシップ等の事業を利用するとよいでしょう。

The Career Support Center provides the following support contents specifically for international students.

Information for Aigi International Students Career Support Consortium

"Aigi International Students Career Support Consortium" https://ag-int.org/ offers several services, such as Career education (including career counseling), internship and Job matching event for international students who are looking for employment in Japan.

デジタル人材育成のための支援

数理・データ科学教育研究センターでは、大学院生が社会人と一緒になり様々な分野で実践的なデータ活用スキルを学ぶ

１，実践データサイエンティスト育成プログラム
２，モビリティ分野における実践DX人材育成リカレント教育プログラム
が受講できます。

https://www.mds.nagoya-u.ac.jp/

アントレプレナーシップ教育　と起業支援プログラム

１，**Tongali E**では様々なキャリア形成に重要な**アントレプレナーシップ育成**の教育プログラムが受講できます
２，**Tongali X**では各種の**起業支援**が準備されています。

https://tongali.net/x/about-x/

教授・学習のサポートツールと研修

高等教育研究センターには、
大学院生や教員を対象にした教授学習サポートツールが用意されています。　また、各種研修を通じて、教育研究にかかわる能力開発を行うことができます。　さらに、高等教育研究センターとQTA・GSIトレーニングセンターとの協同による認定プログラム「大学教員準備講座」や、教授法にかかわる公開セミナーが提供されており、教える技能を実践的に学ぶことができます。

高等教育研究センター　https://web.cshe.nagoya-u.ac.jp
QTA・GSIトレーニングセンター
https://ac.thers.ac.jp/qgc/

学部生や博士前期課程学生
博士後期進学予定者のキャリア支援

博士のロールモデルとの交流

博士のキャリアパスウェビナー

博士取得したOBたちのリアルな体験談を聞く機会です。
年2～3回、開催します。
過去に実施した講演は、アーカイブとして閲覧できます。
過去の講演の録画です。出身学部や会社名など気にせずに、全員の動画を見てみると、様々なヒントが得られます！
https://dec.nagoya-u.ac.jp/career/sympo/

博士後期進学後のキャリア形成について

博士の交流サロン番外編

～博士後期進学後のキャリア形成～
大学院に進学した先は、どういうキャリア選択があるのだろう？進学か？就職か？ちょっと相談をしたい人にお勧めです。

番外編　博士課程進学あれこれ （対象：学部生、博士前期課程）	4/23 以降、不定期開催 年2～3回	12時ー13時	オンライン

「大学での学び」基礎論「キャリア形成」

全学部入学者全員が受講する講義である「大学での学び」基礎論の中に、「キャリア形成」の講義があります。就職・進学について考える材料となると思います。

教養・現代教養科目「キャリア形成論」

キャリア形成論

全学同窓会の寄付で実施しています。
様々な分野で活躍する名古屋大学卒業者・関連の方々を講師としてお呼びし、講師自身のキャリア体験に基づいた講義です。様々な属性（年齢、出身学部・大学院、現職の業種・職種、経歴、性別等）の講師のキャリア選択、社会の動向・職業環境・業界情報等を参考にして、学生が自らのキャリアを考えることを目的としています。

春学期、秋学期
定員110名
金曜2限。
全学教育棟
C43講義室

履修登録をして参加してください。履修登録者でなくても本学所属の者に限り、**聴講**を歓迎します。詳細は教養教育院シラバスで確認ください。
https://dec.nagoya-u.ac.jp/career/wp-content/uploads/career_keiseiron_schedule.pdf

2024年度春学期講義日程

第1回： 4月12日（金） オリエンテーション
キャリア形成の必要性／本講義のガイダンス
名古屋大学 博士課程教育推進機構
キャリア支援・教育部門
学生支援本部 キャリアサポートセンター
博士人材キャリア育成部門 兼務
特任准教授 森 典華

第2回： 4月19日（金）
海外留学（海外体験）のススメ
名古屋大学 国際本部 国際戦略室
准教授 星野 晶成
博士の新たな可能性
−分野、職種を超えた仕事への挑戦
名古屋大学 トランスフォーマティブ生命分子研究所
特任准教授／研究推進主事 佐藤 綾人

第3回： 4月26日（金）
名大からシアトルへ
〜元 GAFAM 社員が語る
次世代のグローバル人財の姿〜
AKKODiS コンサルティング株式会社
Chief of Staff
吉田 まみな

第4回： 5月10日（金）
偉大な会社に入るのではなく、
偉大な会社を作るというキャリア
株式会社 Acompany 代表取締役 CEO
髙橋 亮祐

第5回： 5月17日（金）
皆様と共に私の会社人生を振り返る
太陽化学株式会社 執行役員 品質保証部 部長
宮本 圭一

第6回： 5月24日（金）
シンガポールでのキャリア形成
名古屋大学 グローバルマルチキャンパス推進機構
特任教授
（兼務：Director, Nagoya University Global Campus Ltd/
名古屋大学バンコク事務所所長）
今泉 寛

第7回： 5月31日（金）
大学で身につけた技術を
スタートアップで活かす
株式会社 Preferred Networks エンジニア
柴山 拓也

第8回： 6月14日（金）
私の就職活動＆キャリアの軸の探し方
〜新卒で地方就職を決めた理由〜
大手人材会社
濱本 千都

第9回： 6月21日（金）
将来のキャリアは未知数かつ無限の可能性
コニカミノルタ株式会社 イノベーション推進室
エグゼンプト(技術エキスパート)
小田 一磨

第10回：6月28日（金）
個人としての「働く意味」と、
企業の中で「働く」とは？
アサヒグループジャパン株式会社
P&C 本部 HR-CoE TA チームリーダー
森 裕佳子

第11回：7月5日（金）
100年時代を生き抜くキャリア形成
株式会社 DOKAVEN 代表取締役
酒匂 紀史

第12回：7月12日（金） 総 括
自分らしい未来のために／本講義のまとめ
名古屋大学 学生支援本部 キャリアサポートセンター
就職キャリア相談部門 キャリアカウンセラー
船津 静代

第13回：7月19日（金）
名大生の就活リアル
〜名大就サポOB・OGによる就活体験座談会〜
就活サポーターOB・OG の皆さん 3名

先輩のインタビュー

これまでやってきた研究の概要を教えてください
化合物半導体の硬さ・強度を評価する研究です。理論計算を用いて，半導体の硬さの起源や強度を向上させる方法について日々研究していました。

この春からはどういう仕事をする予定ですか？
詳しい業務内容は配属後に決まりますが、配属場所は茨城県日立市の工場の予定です。そこで扱っている部門を調べた範囲では、化合物半導体のウェーハの製造・開発に関連する業務かなと推測しています。

就職が決まった背景は？
もともとDIIでお世話になっていたのが住友化学子会社のウェーハを作っている会社の方で、こういう人が活躍している会社に行きたいと思っていました。その会社は親会社の住友化学に吸収合併されたのですが、そのまま選考を受けられることになり、内定をいただきました。研究を通して関わった人を通して、社風・研究内容などを深く知ることができたので、「ここなら大丈夫だ」という安心感を持てたのは博士学生ならではだと思います。

キャリア形成にあたって活用したこと、在学中に経験してよかったことを教えてください。
私はもともと文章を書くことに苦手意識がありましたが、フェローやDC2など様々な申請書類を提出することで文章力が鍛えられました。また、「企業と博士人材の交流会」などの機会を通じて誰にでも分かりやすく伝える能力が磨かれました。色々なプログラムを経験することで、自分を成長させることができたと思います。
確かに、「企業と博士人材の交流会」では、就職先だけではなくて、他企業からの評価も受け、優秀賞を取られましたね。開催後にもたくさんの企業からお声がかかったと思います。

大学院の講義である「エンプロイアビリティ」では、異分野の多様な人と新たなアイディアを作って、さらにその後にはそれを実装されておられましたね。
「エンプロイアビリティ」はすごく大きなきっかけになりました。初めて座学ではないフィールドワークに行くことができ、博士の研究が予想以上に社会の役に立つことを実感できたと同時に、「アカデミアの中で審査に受かったり賞を取ったりしても、世の中には波及できない」と思うきっかけ、及びモチベーションになりました。

就職活動で評価されたであろうと思うことはありますか？
学部生のように「就活だ！」と集中的に取り組むというより、人との縁を大切にしていたら、それが結果的に評価に繋がったのだと思います。選考活動外でのコミュニケーションも含めて、総合的なスキルや人間性を評価していただいてたような気がします。

後輩たちにエールをお願いします。
博士課程は個人プレーで頑張ることも多く、自分との闘いという声も周りから聞きますが、だからこそ“周囲の人間をとにかく巻き込もう”をエールの言葉として残したいと思います。申請書の文章にしても，研究の考察にしても第三者からのアドバイスが突破口になることはよくあることです。また、やる気があるのに自分の裁量や能力ではどうすることができないという場面でも、ある人を通したら途端に解決したり、いい話を持ってきてもらえたりすることもしばしば。目線を外に向け、周りの人に頼りながら自分でチャンスを得ていくことが何事においても成功の秘訣だと思います。

星野 聖奈　さん　　2024年3月インタビュー

2024年3月所属：工学研究科 物質科学専攻
　卓越大学院プログラムDII / 融合フロンティアフェロー
／　特別研究員
2024年4月所属：住友化学株式会社

先輩のインタビュー

これまでの研究概要を教えてください。
糖鎖がどのようにガンの悪性化に関与するのか、糖鎖を作る酵素に着目して、機能解明を行っていました。製薬会社とは関連性が高かったと思います。

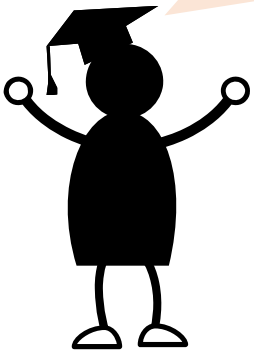
この春からの予定を教えてください。
詳しい業務内容はまだ分からないです。ただ、数多くの分野に分かれている研究職という枠の中で、生物関係のことができるのは確実のようです。ただ、最終面接の場で「専門の糖鎖に関する研究ができるかはわからないよ」とは言われました。

就職が決まった背景
もともと「がんの研究は興味深くて面白い」と思いながら続けてきたので、専門領域に関連する分野で、かつ研究職ができたらいいなと考えて就活していました。また、自分は後輩指導やスケジュール管理に適性を感じることがあったので、ずっと研究職だけではなく、管理職としてのキャリアも楽しいのではないかと考えていました。そして製薬会社の中でも「人の命を救える研究」ができて、国内勤務の希望もあったため、総合的に考えて大手の内資製薬会社に絞られていきました。

キャリア形成にあたって活用したこと、経験してよかったことは？
卓越大学院の交流プログラムに参加した際のグループワークで、医者や情報系の人とコミュニケーションする機会があり、考え方や研究の進め方の違いを知れたのは貴重な学びになりました。
また、「実践データサイエンティスト育成プログラム」で企業とグループワークする経験は、修論の時期と重複してすごく忙しかったけれど、社会人の考え方に触れることができて勉強になったし、就活でも役に立ったと思います。
「企業と博士人材の交流会」では、動画を見てくれた企業の人事から声をかけられたり、逆に自分から企業の展示に足を運んで踏み込んだ質問をしたところ「ぜひ見学にきてほしい」と言われたりもしました。また、自分のプレゼンに対する企業の反応を知りたくて、一斉メールではなく、もう一歩踏み込んで個別にメールをしたところ、丁寧に質問にも答えてくれて、新しい気付きがありました。

就職活動で評価されたと思うことは？
面接の反応から推測すると、学会に数多く参加していた経験は評価されていたように思います。研究内容の質に対する評価はもちろんですが、あらゆる質問に何の衒いもなく、臆することなく答えられたので、そういう総合的な人間力も見てもらえたのかもしれません。

後輩へエールをお願いします
先輩の言うことを聞いて就活スケジュールを考えていたところ、早期選考が前倒しになって一社の選考を逃してしまいました。情報は積極的に取りに行きましょう。ただ、内定をもらっても迷うくらいなら時間の無駄なので、「内定が出たら行こう」と思えた企業だけにエントリーするという強気の姿勢でもいいのではないでしょうか。
また、研究室が自分に合っているかはできるだけ事前に確認しておいた方がいいので、研究室に長く在籍している先輩に話を聞くのがおすすめです。ちなみに、学士や修士の段階で博士進学を少しでも考える人には、既に才能があると思います。自分で考えて主体的に動く姿勢があれば、活躍できることでしょう！
以前までは博士進学は金銭的不安が大きかったですが、今は各種制度のサポートが充実しています。また、特に製薬会社は、予想していた以上に「修士よりも博士を採用したい流れ」になっているようです。キャリア面でも博士人材の未来は明るいと思います！



生命農学研究科の先輩　2024年3月インタビュー

2024年3月所属：生命農学研究科 応用生命科学専攻
卓越大学院CIBoG / 特別研究員 / 実践データサイエンティスト育成プログラム
2024年4月所属：大手製薬会社

先輩のインタビュー

大学院で行った研究の概要を教えてください。
修士課程ではゲノム編集技術を用いて、トマトの甘くならない遺伝子を破壊して甘い果実を作る研究をしていました。博士課程では、接ぎ木に関わる色々な成分（植物ホルモン、代謝物、無機イオン）を探索し、それらがどのように接ぎ木の成立に関与するかを解明する研究をしていました。

この春からはどういう仕事をする予定ですか？
秘密保持の関係上、詳しいことは言えないのですが、バイオ系全般（植物・動物）の研究をすることになると思います。基本的には、20～30年後の技術開発の礎となる知見を得るために、自分主体で基礎研究を推進すると解釈しています。

就職が決まった背景は？
まず、バイオ系博士が少ないため、指導教員を通じてポスドク・企業等、複数の声がかかりました。学位取得がある程度決まってから、自分の中での「就活の軸」を見つめ直した結果、豊田中研がベストだと考えました。2年前に植物系研究者のメーリングリストで豊田中研での研究員採用が募集されていたことを思い出し、ダメもとでメールをお送りしたところ、社内を見学する機会を頂きました。その年は正式にはバイオ系の新入社員の募集はなかったのですが、許可を得たうえで新卒採用のエントリーシートを提出し、2回の面接後、1か月ほどで内定をいただきました。

在学中に経験してよかったことは？
「企業と博士の交流会」はとても良い経験でした。研究者へのプレゼンと企業へのプレゼンは内容や言葉選びも全然違うことを学び、就活にも活かせました。また、ありがたいことにベストポスター賞を頂いたこともあり、懇親会で会社の方に声をかけて頂いたり、個別にメールを頂いたりしました。研究室以外での関わりを持ち、自分の視野や経験を広げられたので、非常にためになるありがたい機会でした。

就職活動で評価されたと思うことはありますか？
園芸作物を専門的に扱える人やゲノム編集技術を扱える人がいなかったため、その専門性を評価されたのがひとつだと考えています。また、工学系の研究者が多い会社なので、分野外を理解し、それを自身の分野に活用できる可能性を模索するといったインプットと、分野外の人に自身の専門性をわかりやすく伝えるといったアウトプットの両者で、異分野の研究者と協調していく力も評価されたと感じています。

後輩へエールをお願いします！
バイオ系博士にはネガティブなイメージ（就職できない、給料が良くない）がありますが、実際は私の周りでキャリアに困ってる博士はおらず、自分の志望したキャリアを自由に選んでいたという記憶があるので、やりたいことを仕事にするための近道は、実は博士なのではないかとも思います。実際、私が学部生で就活したときは30社以上にエントリーしましたが、その多くがエントリーシートで落とされてしまうといった経験がありましたが、博士の就活では、数社に絞って自分が選べる状態だったので、精神的にもとても良かったです。
数多くのイベント（セミナー、研修など）の情報が溢れている社会の中で、自分に必要なものを取捨選択することが大事だと思います。私の場合、その取捨選択の基準は、それらが「ワクワクするかどうか」だったかもしれません。ひたすらタスクが増える昨今の学生さんは、誰もが皆、非常に忙しいことは重々承知していますが、その中でどのように「自分の色」を出して、他の学生さんや博士人材と差別化するかが重要になると思います。博士の学生さんにとって、実験・研究は必要最低限のタスクなので、それに＋αでどんな活動をするのかが、「自分の色」を出す秘訣なのではないでしょうか？
大学や博士課程教育推進機構が主催するイベントのみならず、アルバイトやボランティアなどを含めた「学生じゃないとできない経験」は、どんなことに自分が興味を持ち、何が自分にとって重要なのかを自己分析する機会として非常に良いと思います。慌てすぎずに多様な経験を積んでおくのがおススメです！

川口 航平さん

2024年3月インタビュー

2023年3月所属：生命農学研究科 植物生産科学専攻 園芸科学研究室、卓越大学院プログラムGTR
2023年度所属：卓越大学院プログラムGTRの教職員（研究員）
2024年4月所属：株式会社 豊田中央研究所

先輩のインタビュー

これまでやってきた研究の概要を教えてください
簡単に言うと、医薬品を早く安く作れるような手法論の研究です。具体的には、医薬品候補化合物の合成法に焦点を当て、マイクロフロー技術を利用して迅速かつ低コストで生産するデモンストレーションを実施しました。ちなみに、修士では合成寄りの研究をしていましたが、博士課程では機械学習などの統計的手法を意図的に取り入れ、融合研究に挑戦しました。

この春からはどういう仕事をする予定ですか？
メディシナルケミストの部門で創薬研究に携わる予定です。製薬業界において、メディシナルケミストとプロセスケミストで就活エントリーが分かれていた場合が多かったと記憶しています。私はずっとプロセスケミスト寄りの研究をしてきましたが、「創薬の過程全体を経験したい」という気持ちがあり、新たな挑戦として、メディシナルケミストの進路を選択しました。

就職するにあたって大事にしたことは何ですか？
中学生の頃から、幼いながらに「新薬を作って人々を救いたい」という夢があり、就活における自己分析で原点に立ち返りました。それと同時に、一年（2007年から2017年の一年間の平均）で30種類程度しか完成しない”ある意味でノーベル賞並みの栄誉”となる新薬開発に挑戦したいと思ったため、製薬会社を選択しました。その中でも、ネームバリューや報酬などの研究環境を考慮し、さらに私は精神系の薬に携わりたかったため、志望企業が絞られていきました。

キャリア形成にあたって活用したこと、在学中に経験してよかったことを教えてください。
企業と博士人材の交流会は、画期的な取り組みだと思います。距離感が近く、企業から実際に声がかかり、見学に行くなどの実際的なチャンスが増えました。また、博士はどうしても研究室の中で内向きになっている傾向がありますが、交流会がきっかけでアピール能力を鍛えることができました。自分のプレゼンに対して、どんな企業がどのように評価するのかによって、自分の研究の適性を掴むきっかけになったのもありがたかったです。
また、大学で開催される企業セミナーにも参加しました。セミナーで業界や企業の大枠理解をしたあと、OBOG訪問でより深く内部を知ることができるため、博士にとって大変ありがたい、良くできた仕組みだと感じました。

就職活動で「ここが評価された」と思うことはありますか？
DXが浸透するようになった今の時代だからこそ、機械学習の話をするときは反応が良かったのかもしれません。既存の有機合成研究は、ある意味では製薬会社にとっては当たり前になっているので、機械学習を取り入れた融合研究が目新しく、注目されやすかったのはあると思います。その他、チャレンジングな研究をしながらも、成果に繋げてきた総合的なスキルも評価下さっていたらありがたく思います。余談ではありますが、私が機械学習を取り入れた研究を始めた時は、「その研究にはサイエンスがない」といった指摘をいただくことも多かったです。そのようなご指摘と向き合う中で、自分の研究成果を正しく伝えるスキルを伸ばすことができました。そして、今は就職活動でも「機械学習が使えるか」といった項目があるほどに注目されているため、結果的には良かったのかなと思います。

後輩たちにエールをお願いします。
博士課程にネガティブなイメージを持つ人もいますが、私にとっては2つの側面で大きな価値がありました。ひとつは社会的なメリットです。研究を通して世界とのコネクションを築くためには、やはり学位が重要になってくると思います。もうひとつは個人的なメリットです。自分の興味関心をとことん深く突き詰めていけるのが、博士課程の本質的な価値だと感じています。また、博士課程自体がひとつの学問を究めるような体系になっていますが、博士課程も研究人生レベルで見ればひとつの過程に過ぎないと考えています。常に新しいことに挑戦し、自分のスキルを高めていく意識を持つといいのかもしれません！

創薬研究科の先輩

2024年3月インタビュー

2024年3月所属：創薬科学研究科 基盤創薬学専攻
　融合フロンティアフェロー／学振特別研究員
2024年4月所属：製薬会社
＜受賞等＞
・第 11 回 CSJ化学フェスタ2021 最優秀ポスター発表賞
・2023 年度名古屋大学学術奨励賞
・第 18 回ホームカミングデイ「NAGOYA UNIVERSITY 3 MINUTE COMPETITION」

先輩のインタビュー

これまでやってきた研究の概要を教えてください
新規人工核酸を用いた、核酸医薬の開発をしていました。
ひたすら細胞実験をやるようなウェットな研究で、医薬品のシーズ開発のようなものなので、相当時間がかかりました。

この春からはどういう仕事をする予定ですか？
裁量権は本社にしかないので、詳しくは4月に発表になるようです。ただ、現場の上司になるであろう人と会話した雰囲気からすると、今までの研究と同じようなことを担当できるかもしれません。業界最大手企業だと、自分の研究と関係ない業務に就くことも多いと思いますが、もしかしたらそういう意味では最大手というわけではない会社の規模感が私にはちょうど良いのかもしれません。

就活の流れや、キャリアに関する考え方は？
フェローシップに申込みする段階で、アカデミアと企業の「どちらでもやっていけるかな」と考えていました。ただ、アカデミアの募集よりも企業へのエントリーの方が時期が早いので、「この企業であれば研究してみたい」と思える製薬会社に絞って就職活動をしました。上から目線のようで恐縮ですが、企業への就活でご縁がなければアカデミアに行こうと思っていました。ちなみに、企業就職についても「将来にわたってここで働こう」と決めているわけではなく、自分のキャリアステップについては柔軟に考えています。

キャリア形成にあたって活用したこと、在学中に経験してよかったことを教えてください。
一番役に立ったのはD1で参加した「企業と博士人材の交流会」です。就活を始める時期・企業が欲しがっている人材・自分がアピールすべき点などなど、本来は就活をしないと分からないようなポイントを、D1の時点で知ることができました。その他、セミナーや学生企画にも積極的に参加しました。すごく正直に言うと、最初は「ポイント取得」の側面もあったのですが、結果的にチームワーク・企画力・発信力など、すべてが経験値になったと思います。

就職活動で評価されたであろうと思うことはありますか？
とにかく研究能力を重要視され、そこを評価されたと感じています。一方で、セミナーや学生企画に取り組んだ経験などは、博士就活では“直接的には”評価されていないように感じました。しかし、直接的でなくともまわりまわって就職活動ではプラスに働いたと思います。学部生であれば様々な経験をしていることそのものがプラス評価になるのかもしれませんが、博士の就活においては、とにかく研究力や、研究に対する取り組み方を見られていると思います。他分野の人にわかりやすくプレゼンする能力や企画力など、セミナーや学生企画を通じて培った力が、シンプルな研究能力に付随して、“総合的な”研究能力として発揮され評価されたと感じています。

後輩たちにエールをお願いします。
私はやるべきことを逆算してスケジューリングするのは得意な方で、D3が研究の山場だというのは分かっていたので、D1・D2の段階で積極的にポイント獲得するために動いていました。もっと言うと、修士の頃から「博士課程は体力勝負になる」と分かっていたので、朝から激しめの運動をし、冷水を浴びたり、食事管理も行ったりと、周りからは変な目で見られながらもメンタルや体調の管理には修士の頃から早め早めに人一倍対策をしていました。そのおかげか、忙しいながらもメンタルや体調を壊すことなく博士課程を修了することができました。後輩たちへ伝えたいこととしては、「いろんなことを考えて、そのいろんなことに一生懸命取り組むと良い」ということです。“一生懸命”に取り組むことには、研究のみではなく、セミナーなどの活動に取り組むことや、自身のメンタルや体調管理も含んでいます。研究能力やアイデア勝負な世界だからこそ、ただ研究をするだけでは勝てません。研究で画期的なアイデアを生み出すために、あるいは就活で評価されるような総合的な研究能力を持つ人間になるために、研究に関係ない部分でも“実験”ととらえてやってみてください。「これって意味あるかな？」と感じるようなことも、結果的に研究効率やスキルアップに繋がります。私も未だ自分で実験をしている最中です。

工学研究科の先輩

2024年3月インタビュー

2024年3月所属：工学研究科 生命分子工学専攻
融合フロンティアフェロー
2024年4月所属：大手製薬会社